

**2026年3月期 第2四半期
決算報告資料**

松井証券株式会社

2025年10月29日

INDEX

01 決算の状況

02 ビジネスの状況

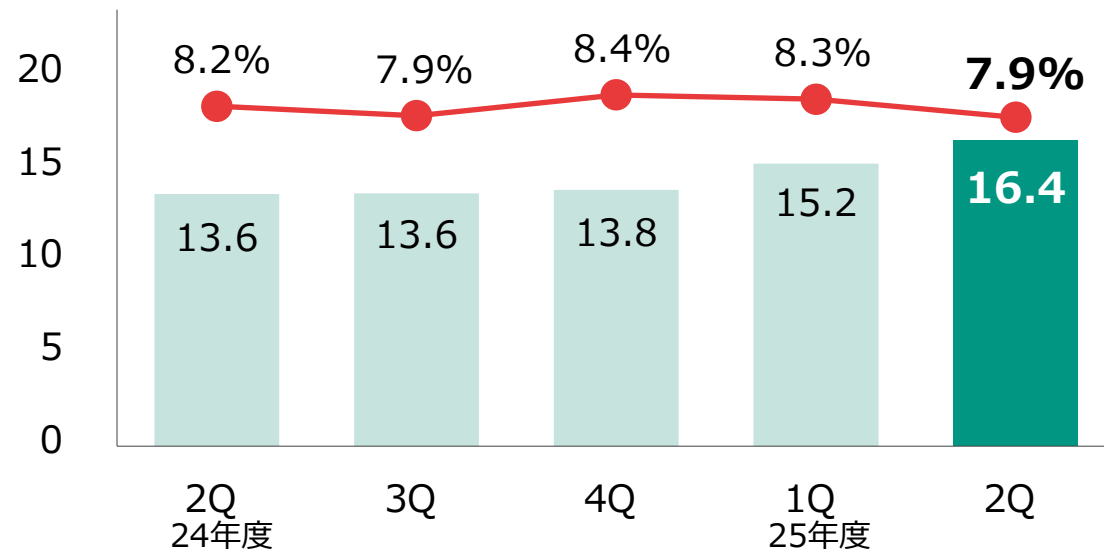
03 経営戦略・取組み施策

Appendix

ビジネスの概況

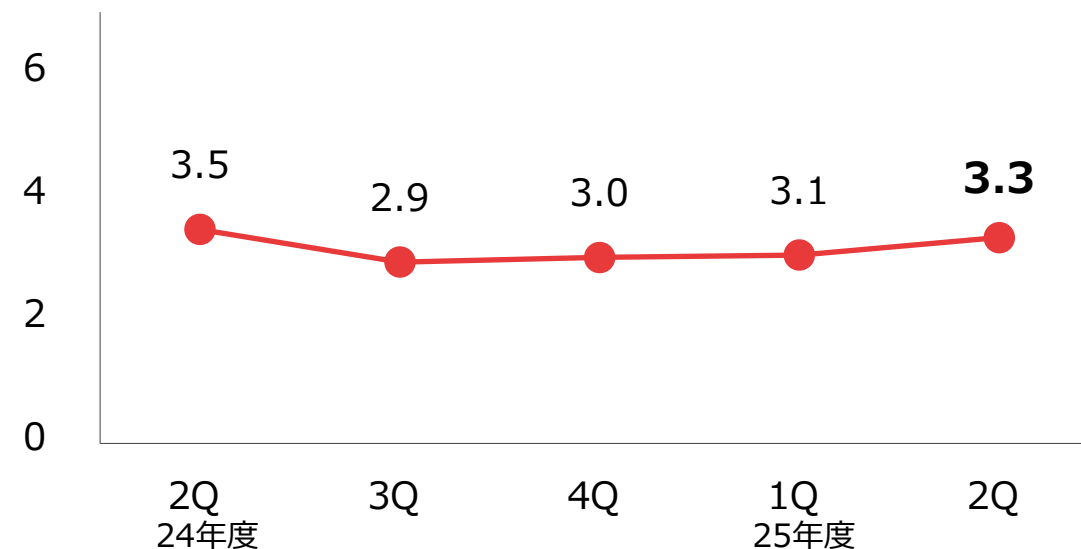
(兆円)

株式売買代金とシェア



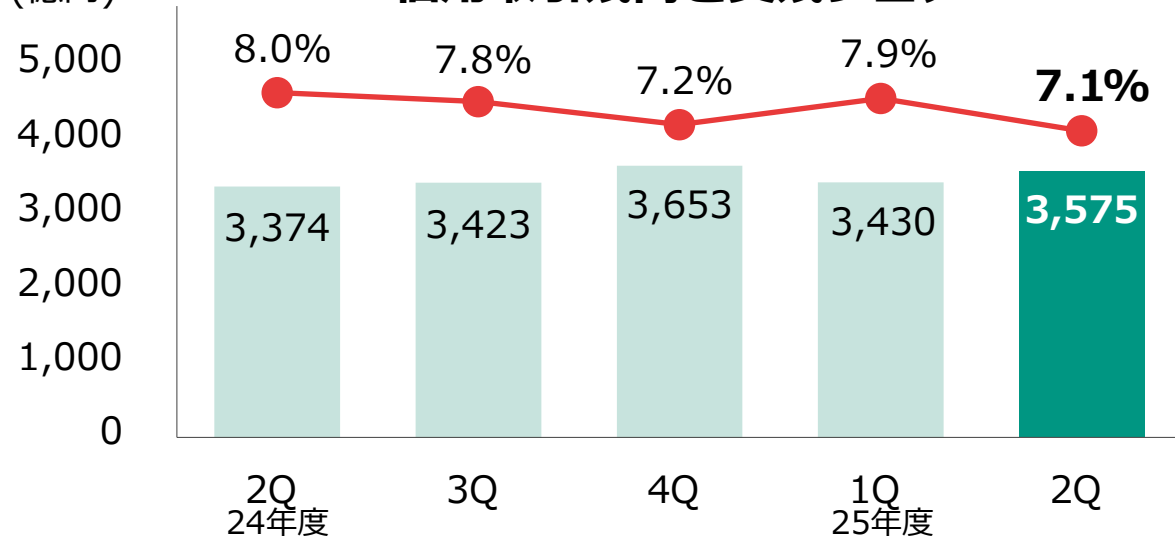
(bp)

株式委託手数料率

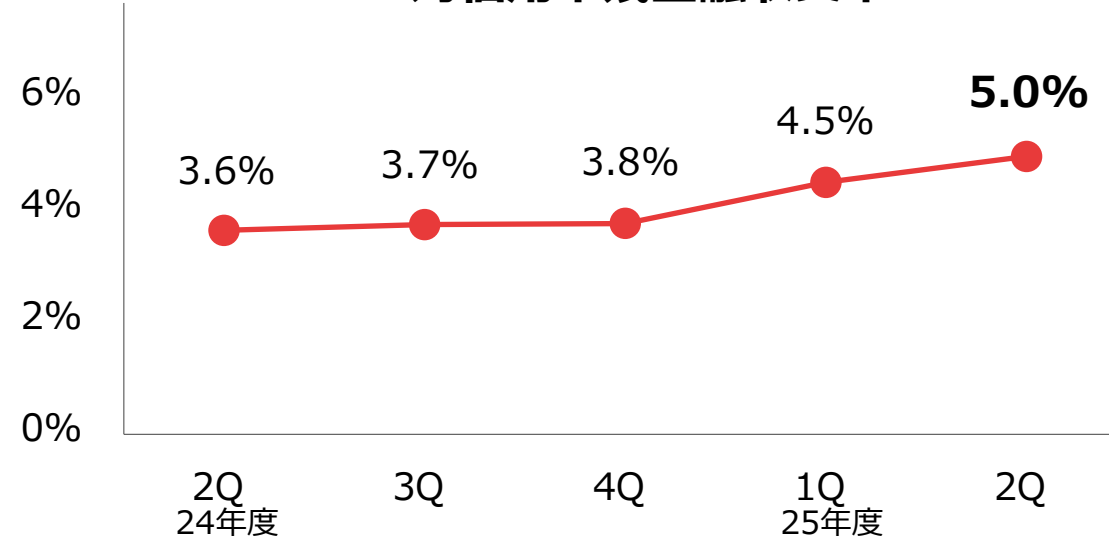


(億円)

信用取引残高と買残シェア



対信用平残金融収支率



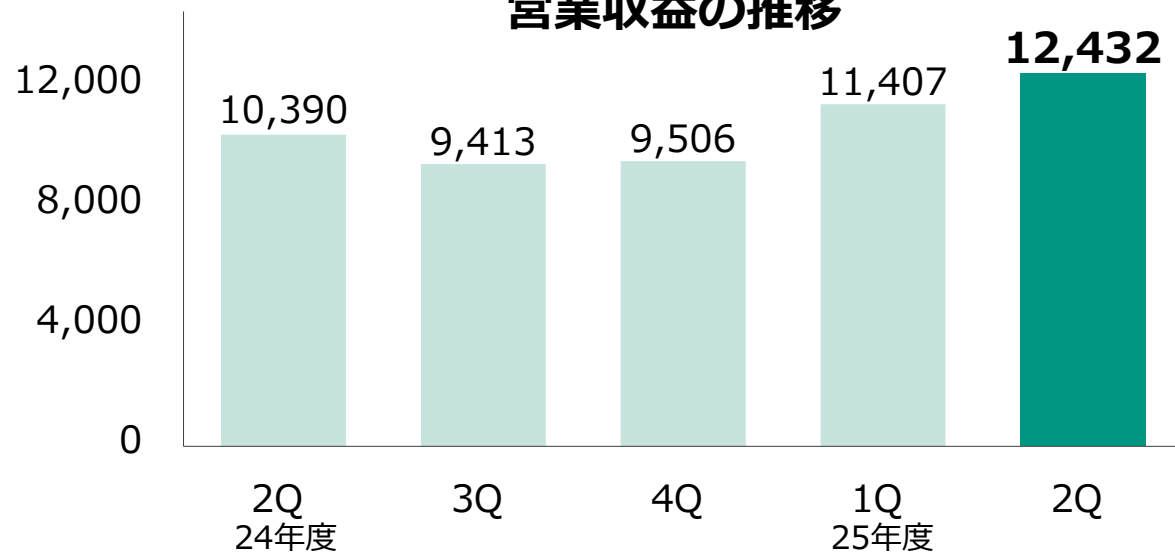
決算の概況

MATSUI

松井証券

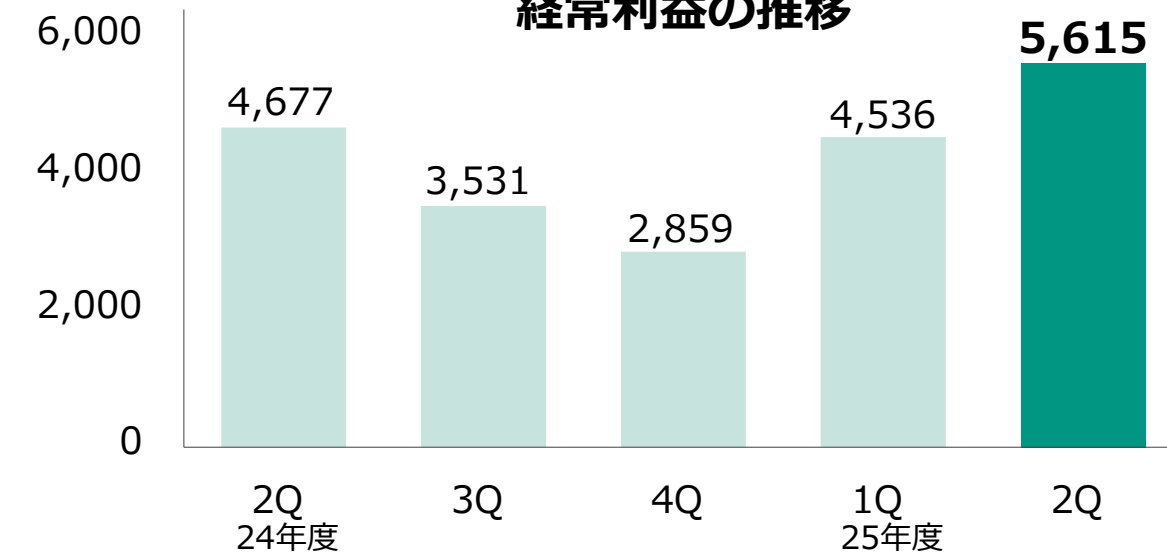
(百万円)

営業収益の推移



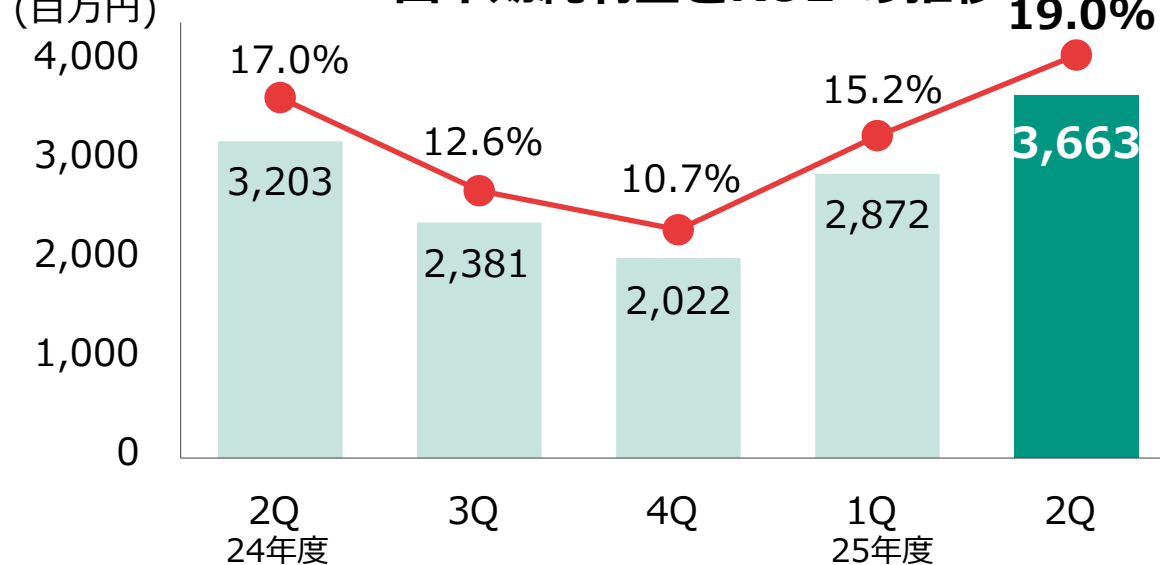
(百万円)

経常利益の推移



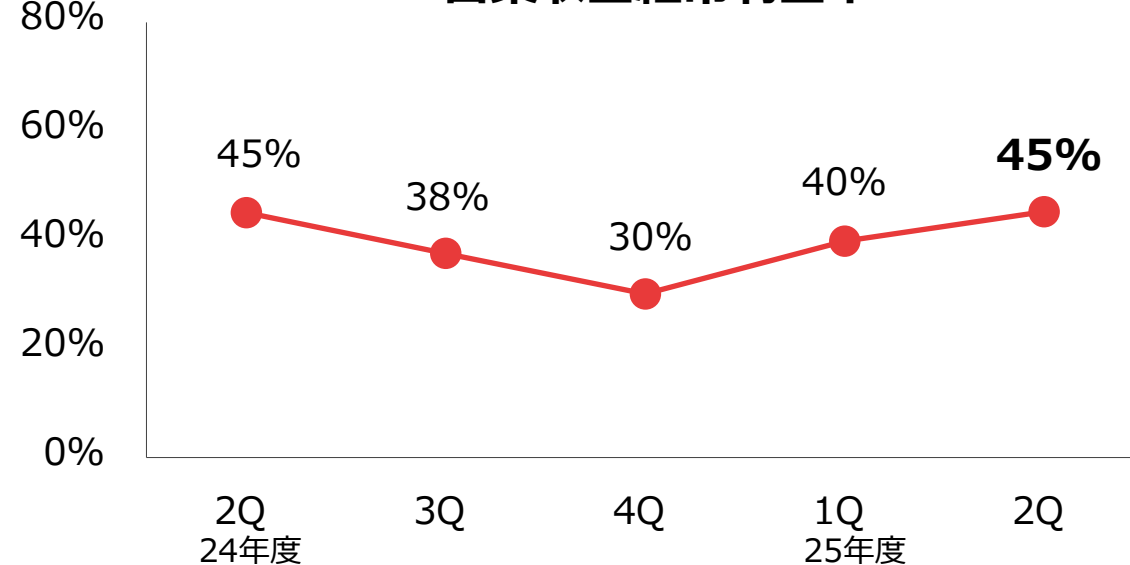
(百万円)

四半期純利益とROE¹の推移



80%

営業収益経常利益率



注1：ROEは各四半期毎に年換算して算出

決算の状況

26年3月期2Qの業績（前年同期比）①

営業収益は**238億円**（前期比**18%増**）

経常利益は**102億円**（同**14%増**）、当期純利益は**65億円**（同**7%増**）

（単位：百万円）

	25年3月期2Q(6ヶ月)	26年3月期2Q(6ヶ月)	前年同期比
営業収益	20,285	23,839	18%
純営業収益	19,373	22,323	15%
販管費	10,473	12,060	15%
営業利益	8,900	10,263	15%
経常利益	8,902	10,152	14%
当期純利益	6,097	6,535	7%
営業収益経常利益率	44%	43%	-
当社株式売買代金（兆円）	27.1	31.7	17%
当社信用取引平残（億円）	3,781	3,337	-12%

26年3月期2Qの業績（前年同期比）②

受入手数料は**113億円**（前期比**7%増**）
金融収支は**79億円**（同**16%増**）

（単位：百万円）

	25年3月期2Q(6ヶ月)	26年3月期2Q(6ヶ月)	前年同期比
受入手数料	10,593	11,347	7%
委託手数料	10,067	10,819	7%
株式・ETF	9,447	10,314	9%
先物・オプション	620	505	-19%
その他	526	527	0%
トレーディング損益	1,925	3,054	59%
金融収支	6,855	7,922	16%
金融収益	7,767	9,438	22%
金融費用	912	1,516	66%
純営業収益	19,373	22,323	15%

26年3月期2Qの業績（前年同期比）③

販管費は**121億円**（前期比**15%増**）

（単位：百万円）

	25年3月期2Q(6ヶ月)	26年3月期2Q(6ヶ月)	前年同期比
取引関係費	3,188	3,773	18%
取引所・協会費	791	872	10%
通信・運送費	652	709	9%
広告宣伝費	1,178	1,575	34%
人件費	1,976	2,359	19%
不動産関係費	544	608	12%
事務費	2,592	3,065	18%
減価償却費	1,759	1,830	4%
租税公課	247	270	9%
貸倒引当金繰入	47	0	-
その他	121	155	29%
販管費合計	10,473	12,060	15%

26年3月期2Qの業績（直前四半期比）①

営業収益は**124億円**（直前四半期比**9%増**）
経常利益は**56億円**（同**24%増**）、当期純利益は**37億円**（同**28%増**）

（単位：百万円）

	26年3月期1Q	26年3月期2Q	直前Q比
営業収益	11,407	12,432	9%
純営業収益	10,713	11,610	8%
販管費	6,045	6,016	-0%
営業利益	4,668	5,594	20%
経常利益	4,536	5,615	24%
当期純利益	2,872	3,663	28%
営業収益経常利益率	40%	45%	-
当社株式売買代金（兆円）	15.2	16.4	8%
当社信用取引平残（億円）	3,285	3,388	3%

26年3月期2Qの業績（直前四半期比）②

受入手数料は**61億円**（直前四半期比**16%増**）
金融収支は**42億円**（同**14%増**）

（単位：百万円）

	26年3月期1Q	26年3月期2Q	直前Q比
受入手数料	5,246	6,101	16%
委託手数料	4,996	5,823	17%
株式・ETF	4,721	5,593	18%
先物・オプション	275	230	-17%
その他	250	278	11%
トレーディング損益	1,759	1,295	-26%
金融収支	3,708	4,214	14%
金融収益	4,402	5,036	14%
金融費用	694	822	18%
純営業収益	10,713	11,610	8%

26年3月期2Qの業績（直前四半期比）③

販管費は**60億円**（直前四半期比同水準）

（単位：百万円）

	26年3月期1Q	26年3月期2Q	直前Q比
取引関係費	1,925	1,849	-4%
取引所・協会費	433	439	2%
通信・運送費	362	347	-4%
広告宣伝費	834	741	-11%
人件費	1,227	1,132	-8%
不動産関係費	305	303	-1%
事務費	1,465	1,600	9%
減価償却費	919	911	-1%
租税公課	132	138	4%
貸倒引当金繰入	△ 3	3	-
その他	75	81	8%
販管費合計	6,045	6,016	-0%

自己資本規制比率

現在の事業を支える上で、十分な規模の自己資本が積みあがっており
現状における適正な水準を達成している

自己資本規制比率（2025年9月末）

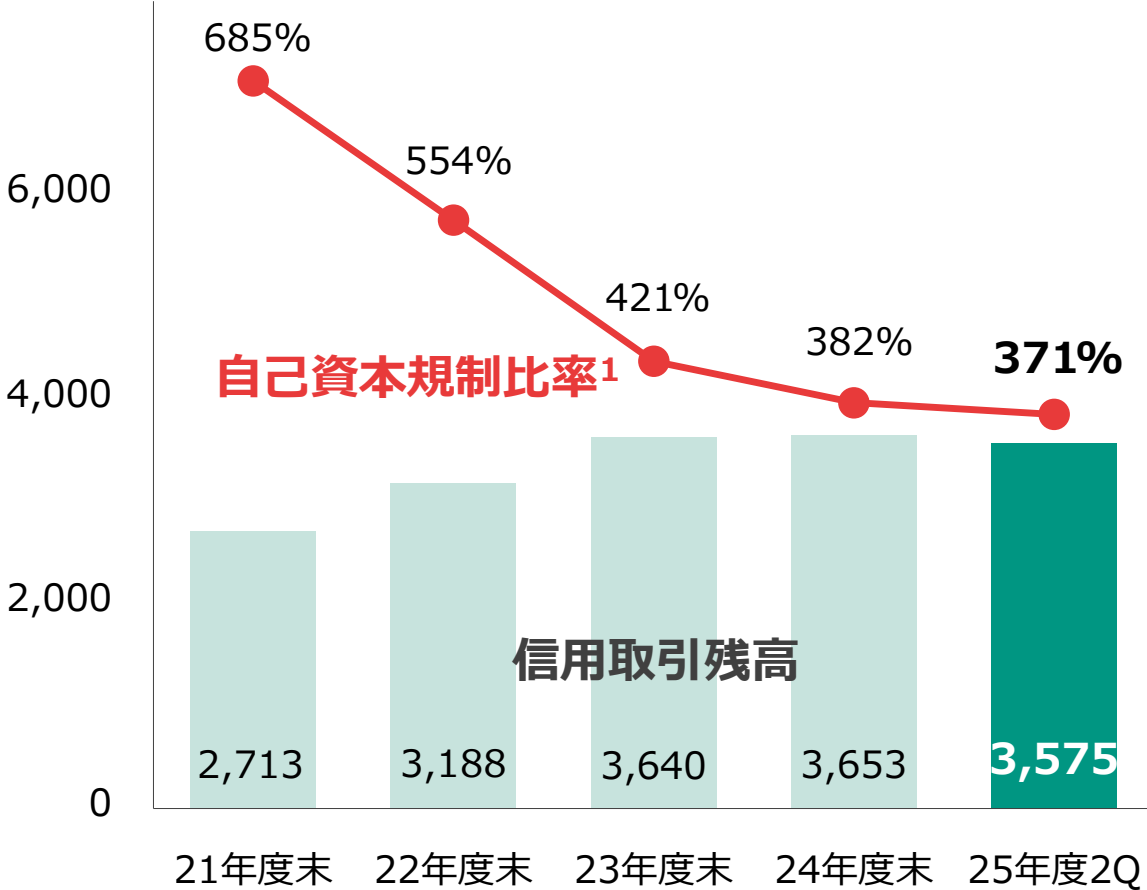
（億円）

（単位：百万円）

基本的項目		(A)	70,994
補完的項目	その他有価証券評価差額金(評価益)等		2,145
	金融商品取引責任準備金等		4,744
	一般貸倒引当金		9
計		(B)	6,898
控除資産		(C)	22,814
固定化されていない自己資本			
(A) + (B) - (C)		(D)	55,078
リスク相当額	市場リスク相当額		221
	取引先リスク相当額		9,369
	基礎的リスク相当額		5,224
計		(E)	14,815
自己資本規制比率		(D)/(E)	371%

※ 自己資本規制比率は社外流出後

信用取引残高と自己資本規制比率の推移



注1：オンライン証券5社の自己資本規制比率の平均は318%（2025年6月末時点）

2026年3月期の中間配当は1株あたり**25円**

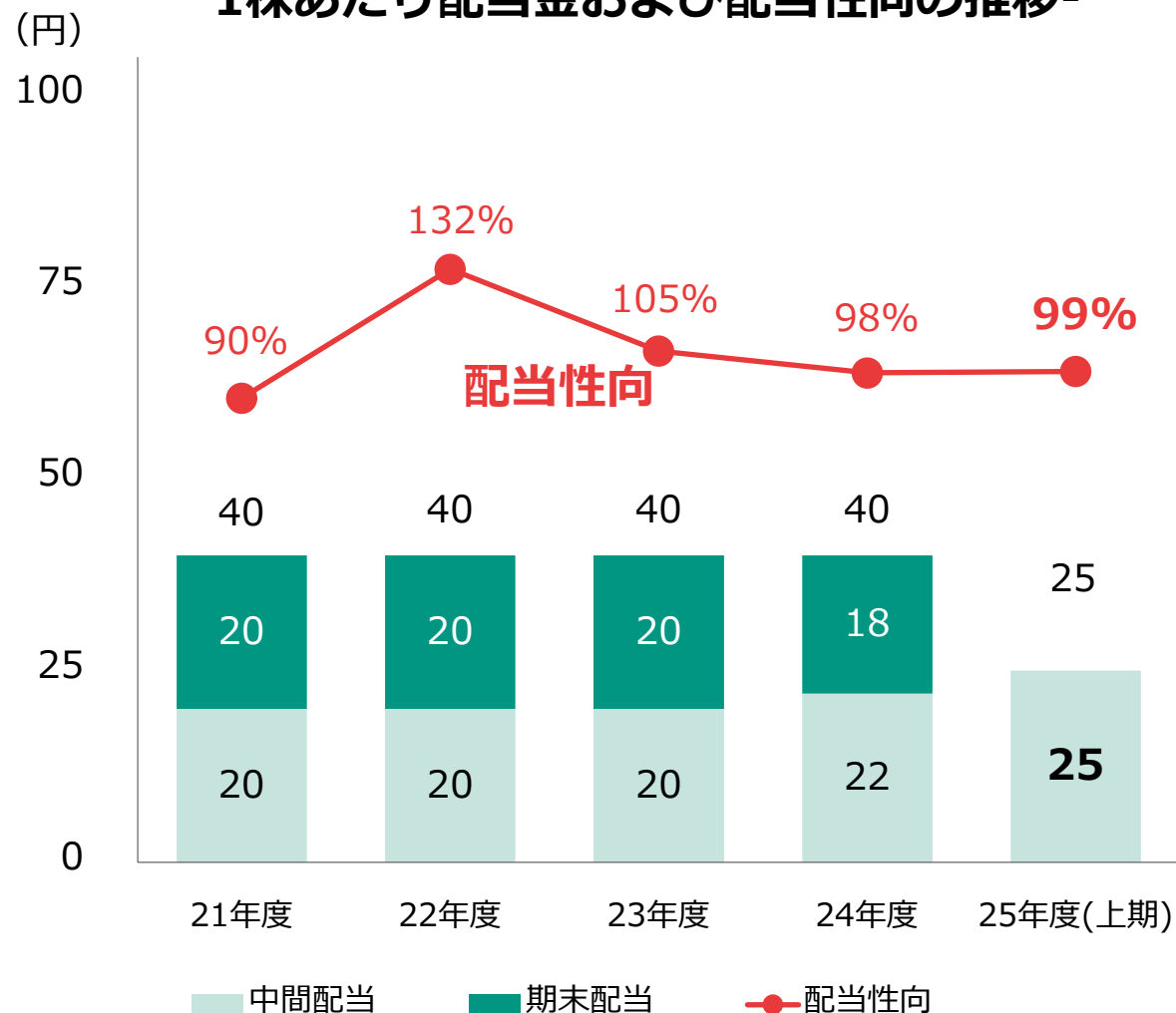
2026年3月期の中間配当

- 中間配当 : 1株あたり**25円**
- 配当性向 : 99%
- DOE : 16.5%
- ROE : 16.8%

配当政策の基本方針

- 配当性向 : 60%以上
且つ
- 純資産配当率 (DOE) : 8%以上

1株あたり配当金および配当性向の推移¹



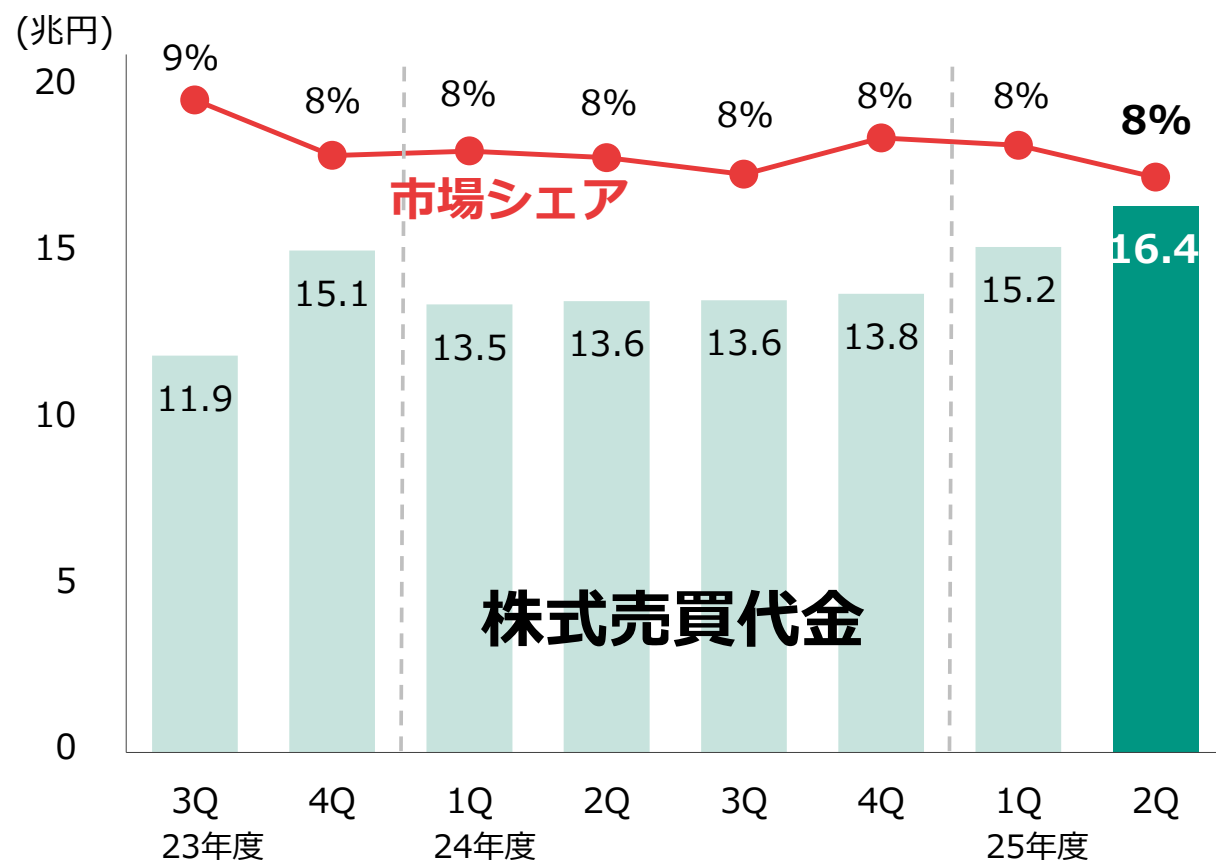
注1：配当性向は普通配当に対する実績

ビジネスの状況

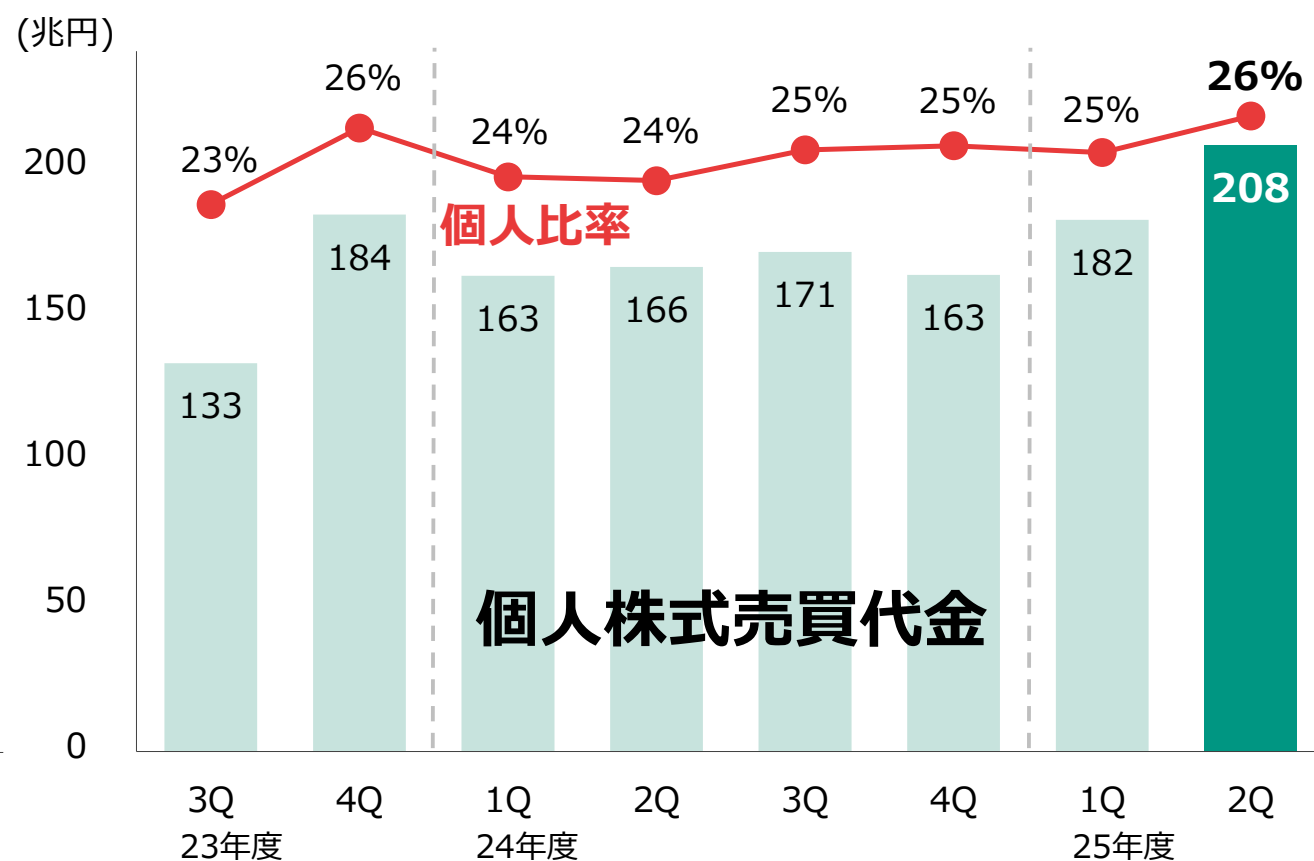
株式売買代金

当社の市場シェアは **8%**

株式売買代金と市場シェア



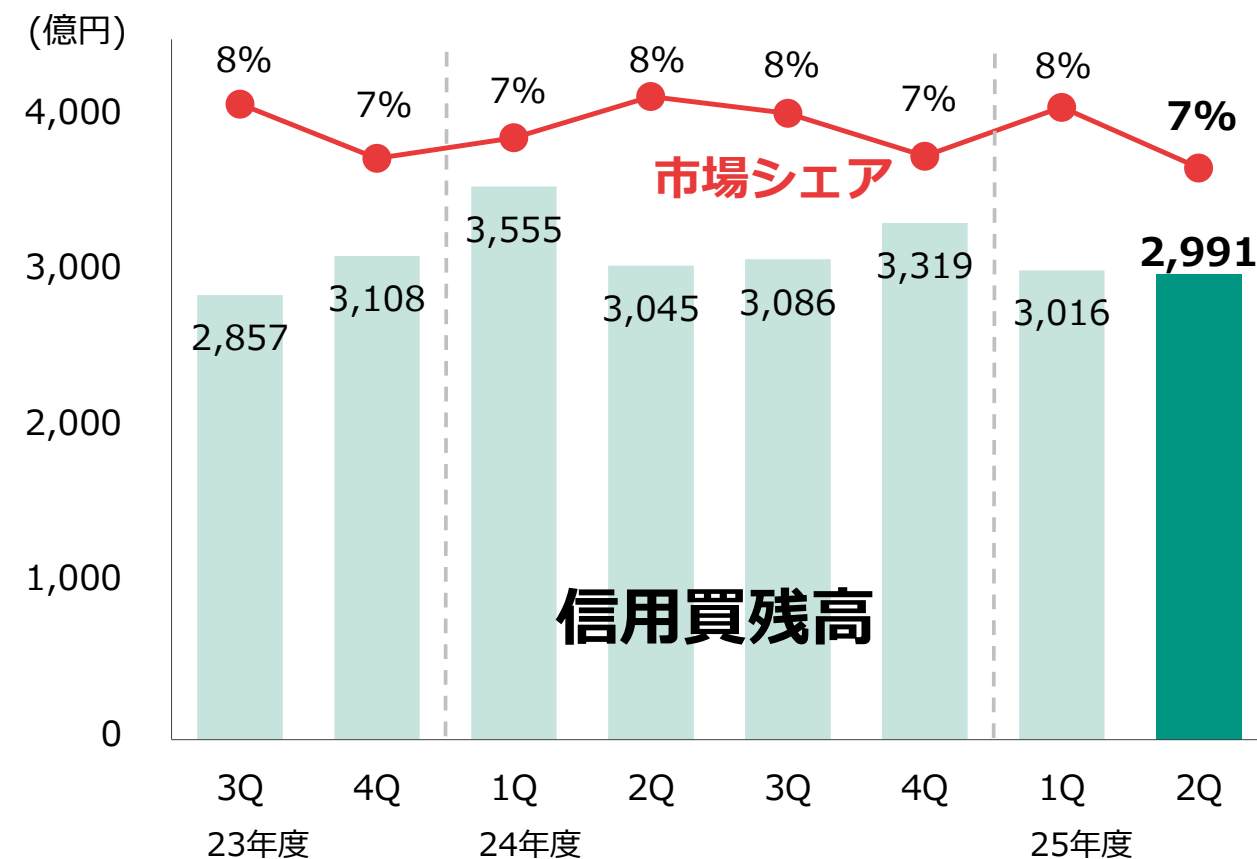
個人株式売買代金¹と個人比率



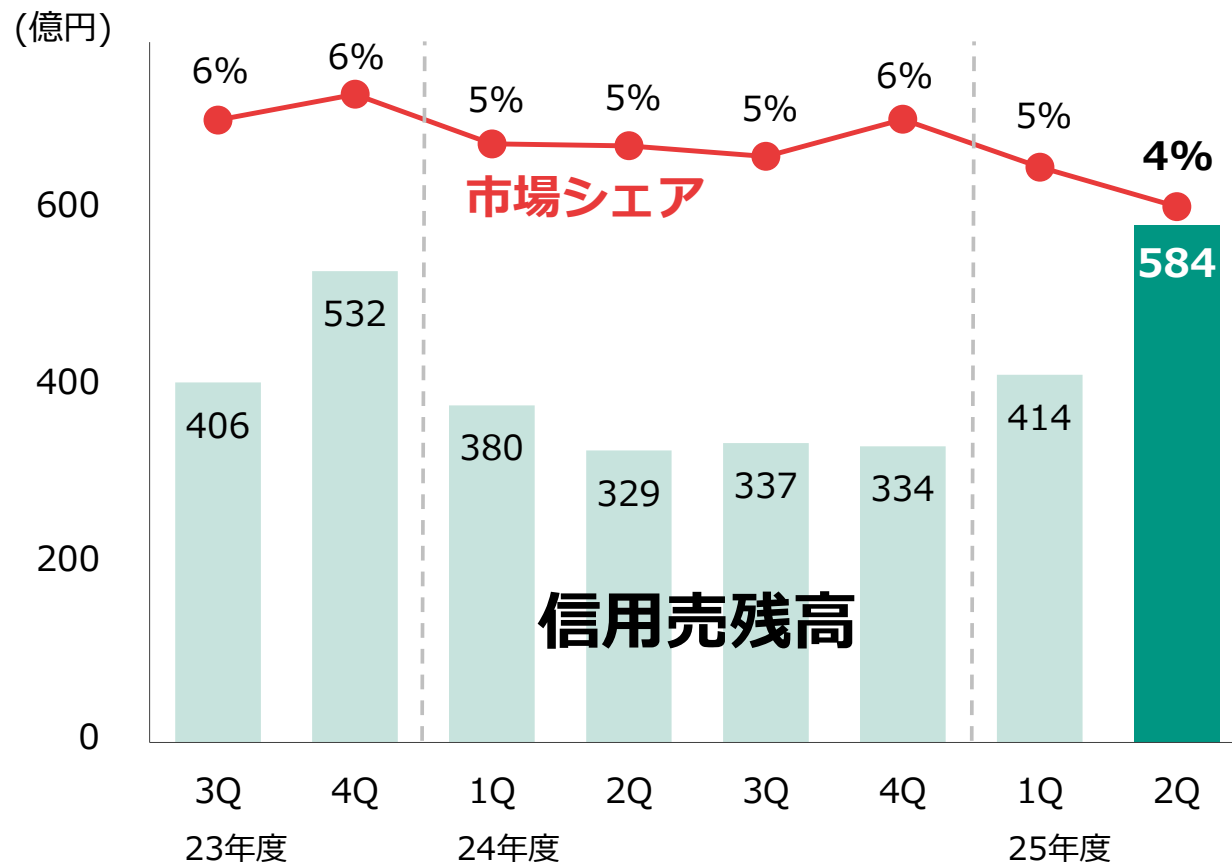
信用取引残高

当社の市場シェアは、買残高 **7%**、売残高 **4%**

買残高と市場シェア

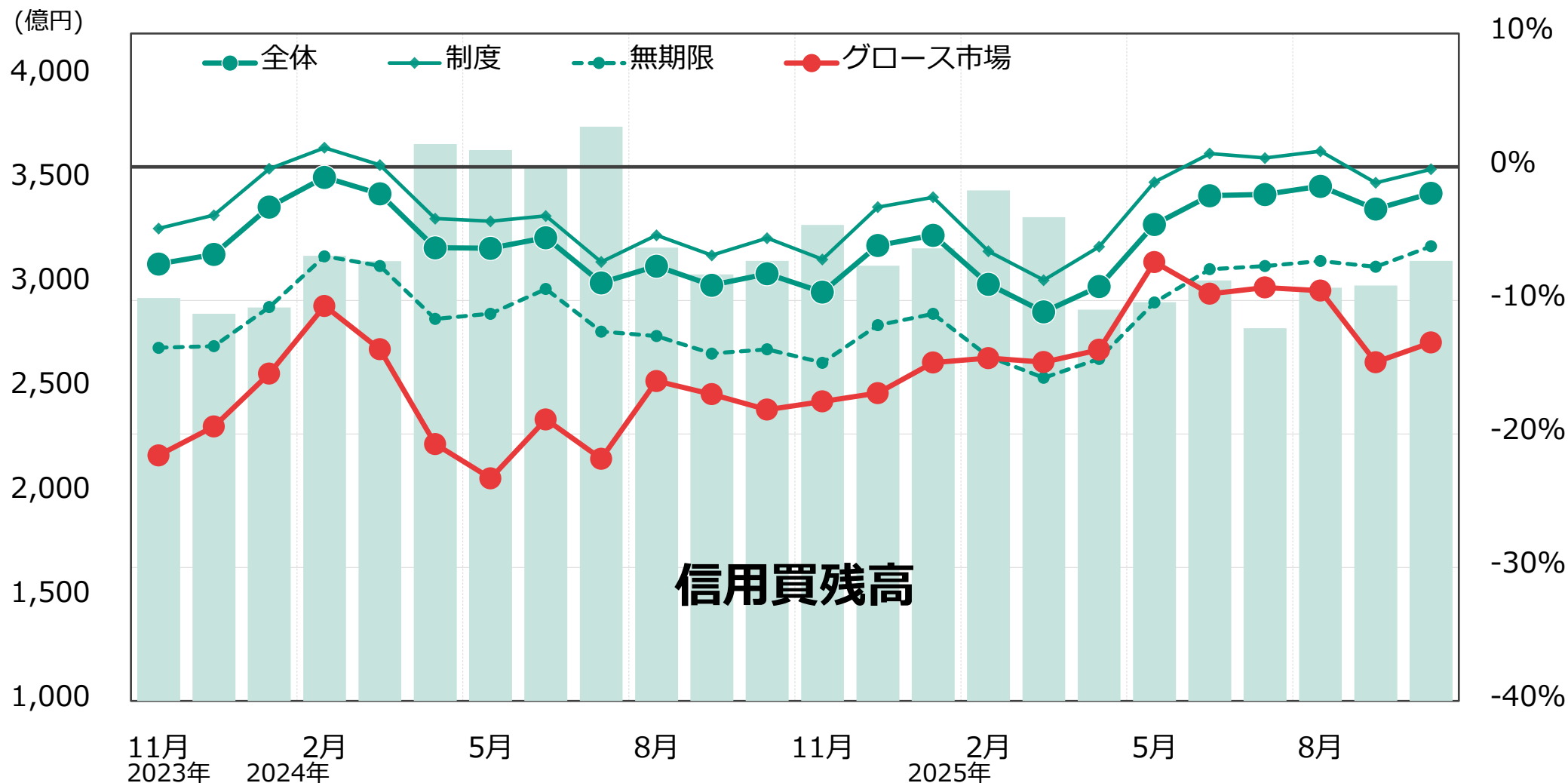


売残高と市場シェア



信用取引買残高に対する評価損益率

10月22日時点の評価損益率（全体）は **-2.0%**
グロース市場における評価損益率は **-13.2%**

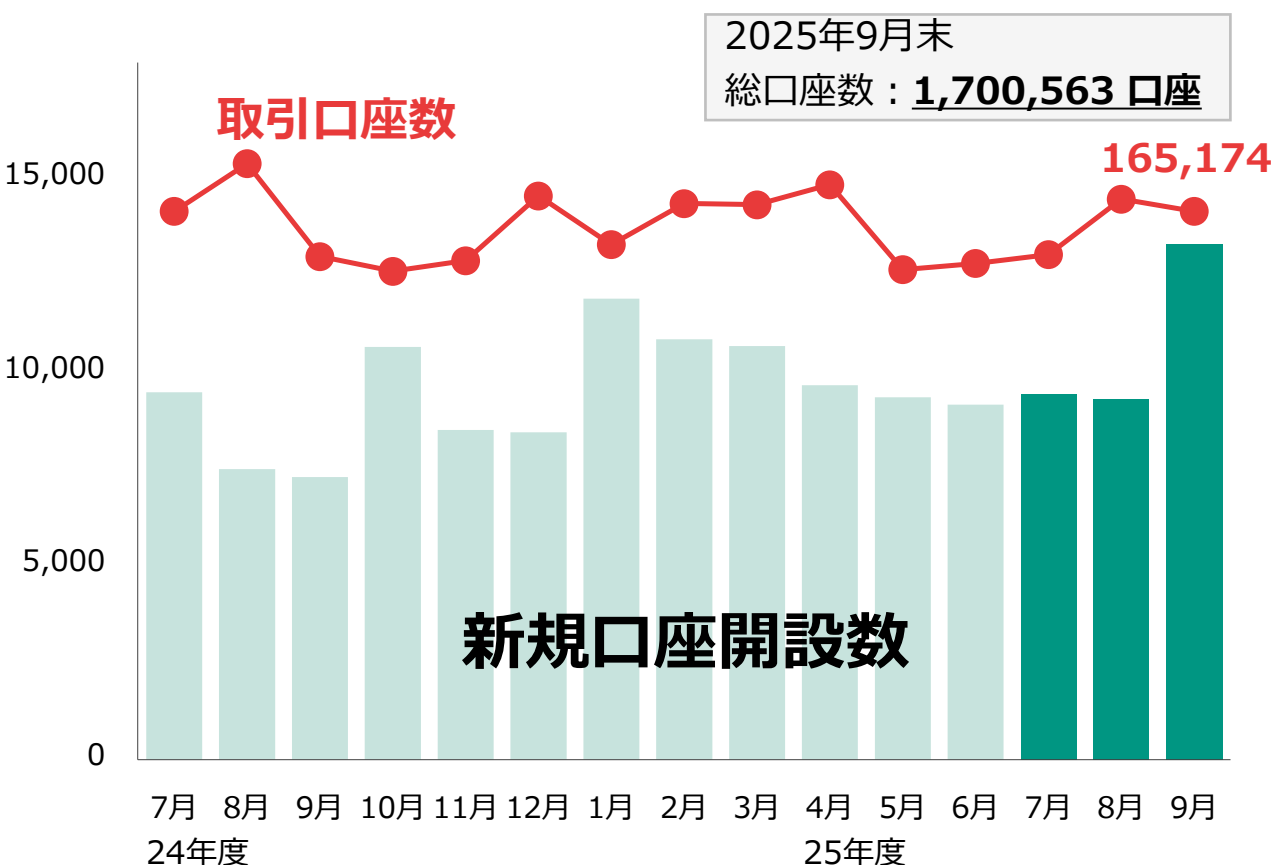


※データは月末時点

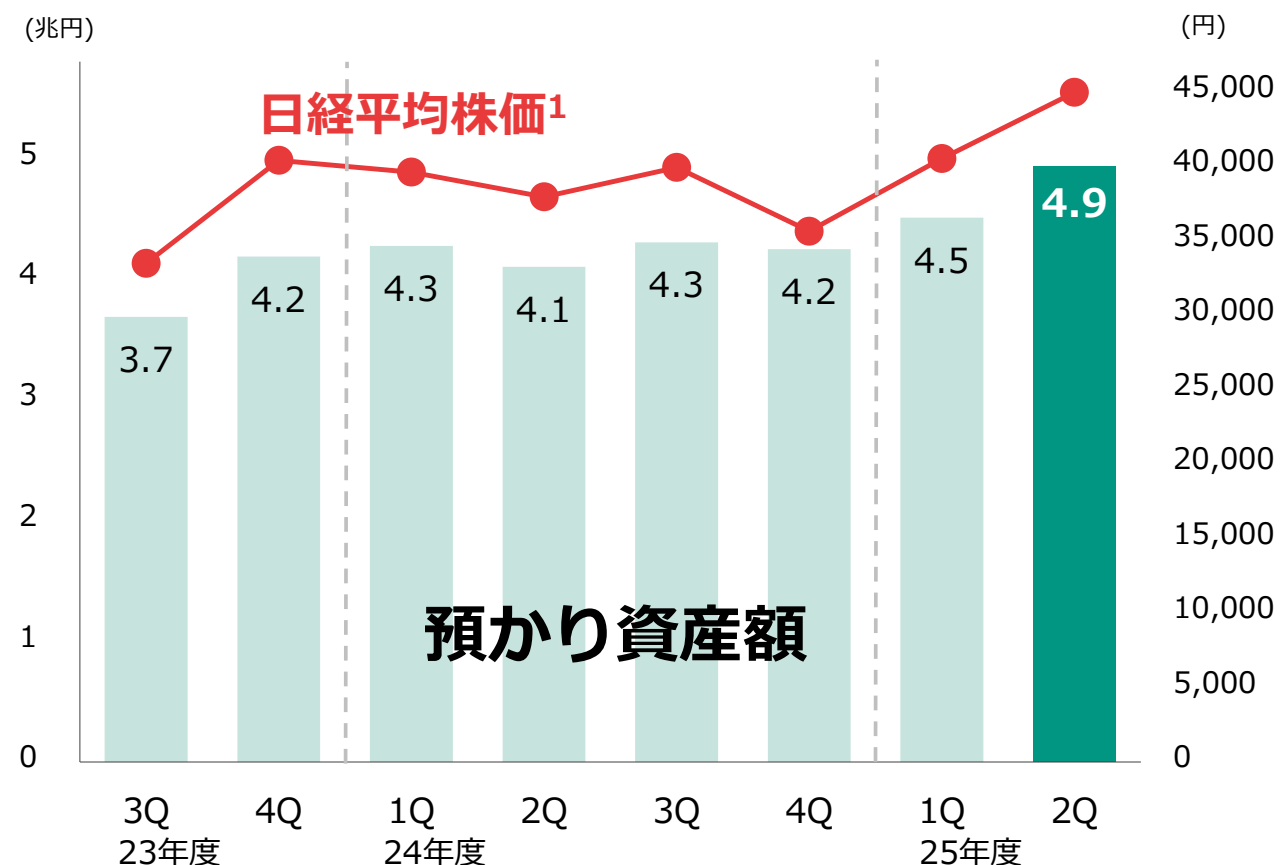
口座数・預かり資産

2Qの新規口座開設数は月間平均 **約10,700口座**

口座数の推移



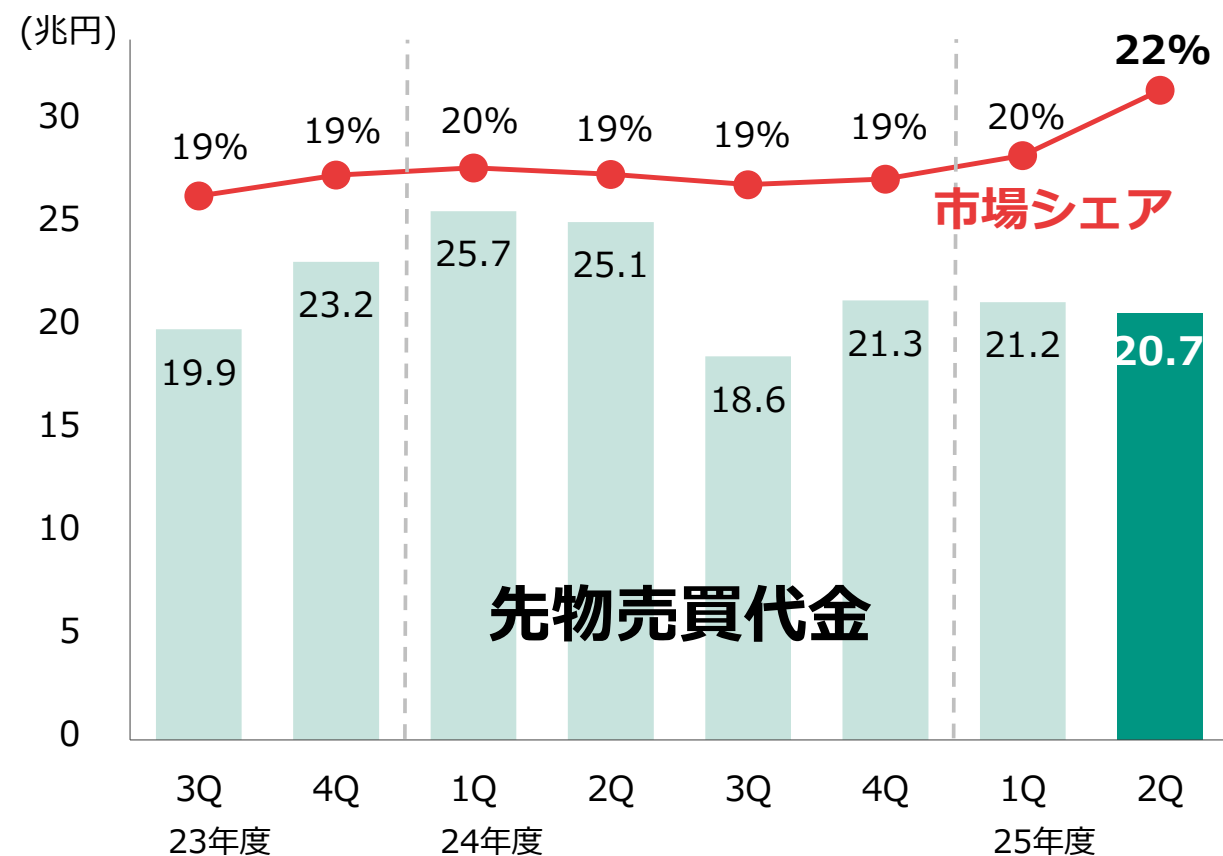
預かり資産



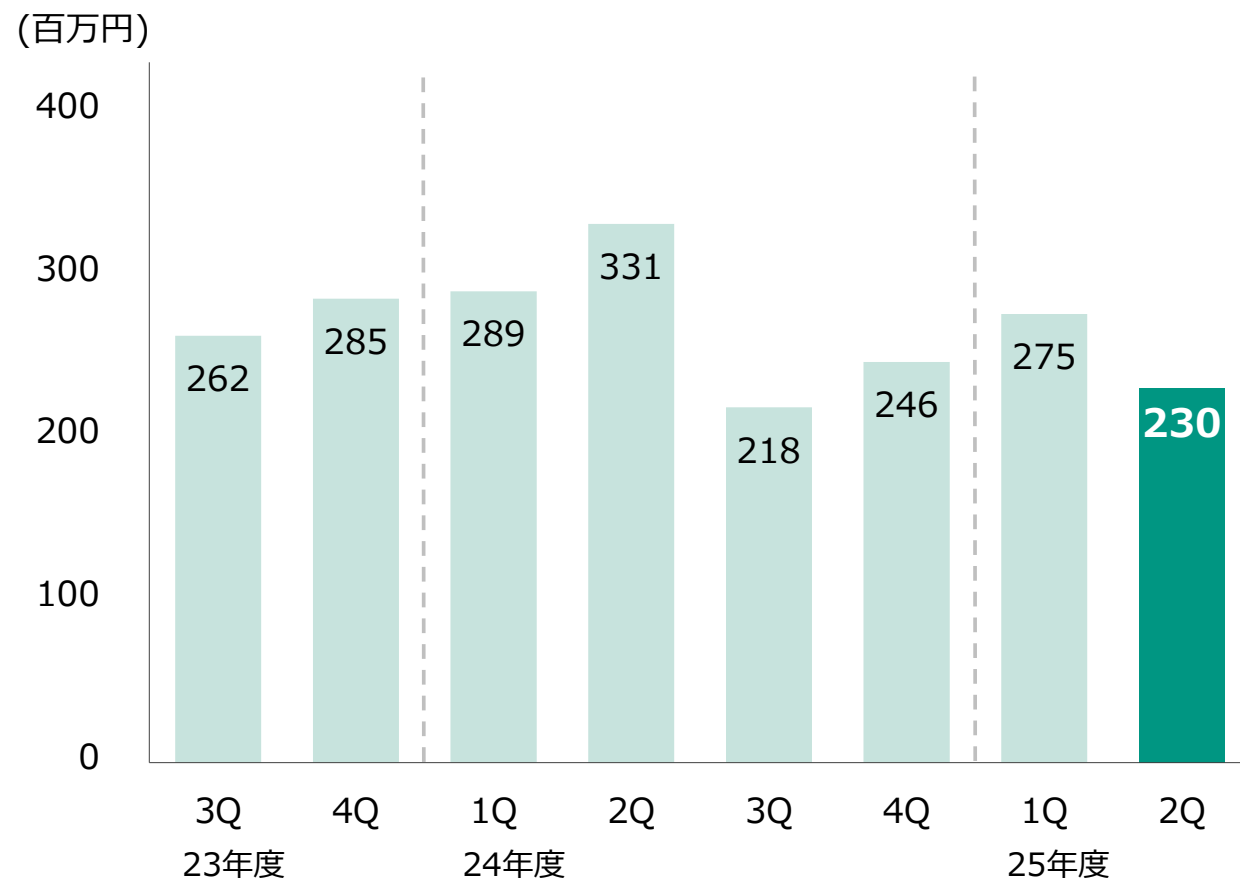
注1：日経平均株価は各期末終値

当社の市場シェアは **22%**

先物売買代金と市場シェア

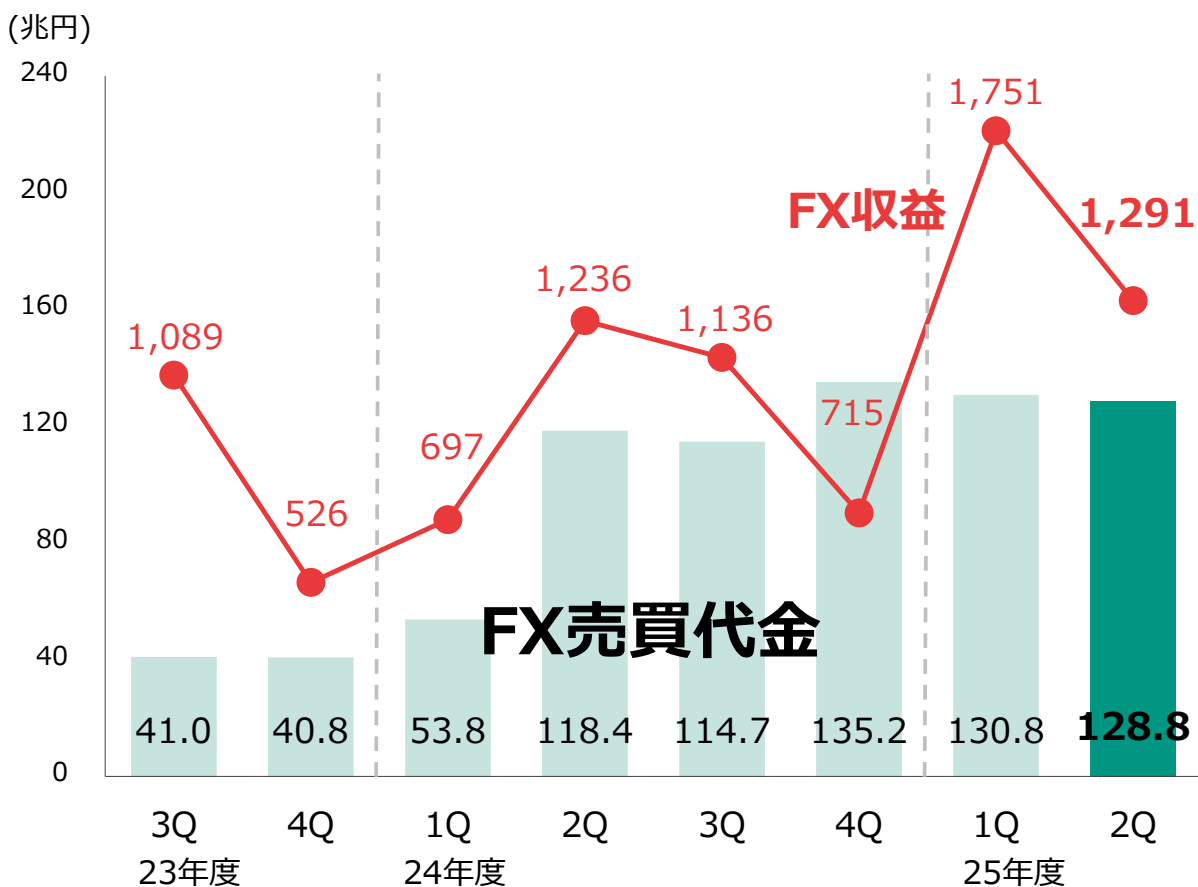


先物・オプション収益

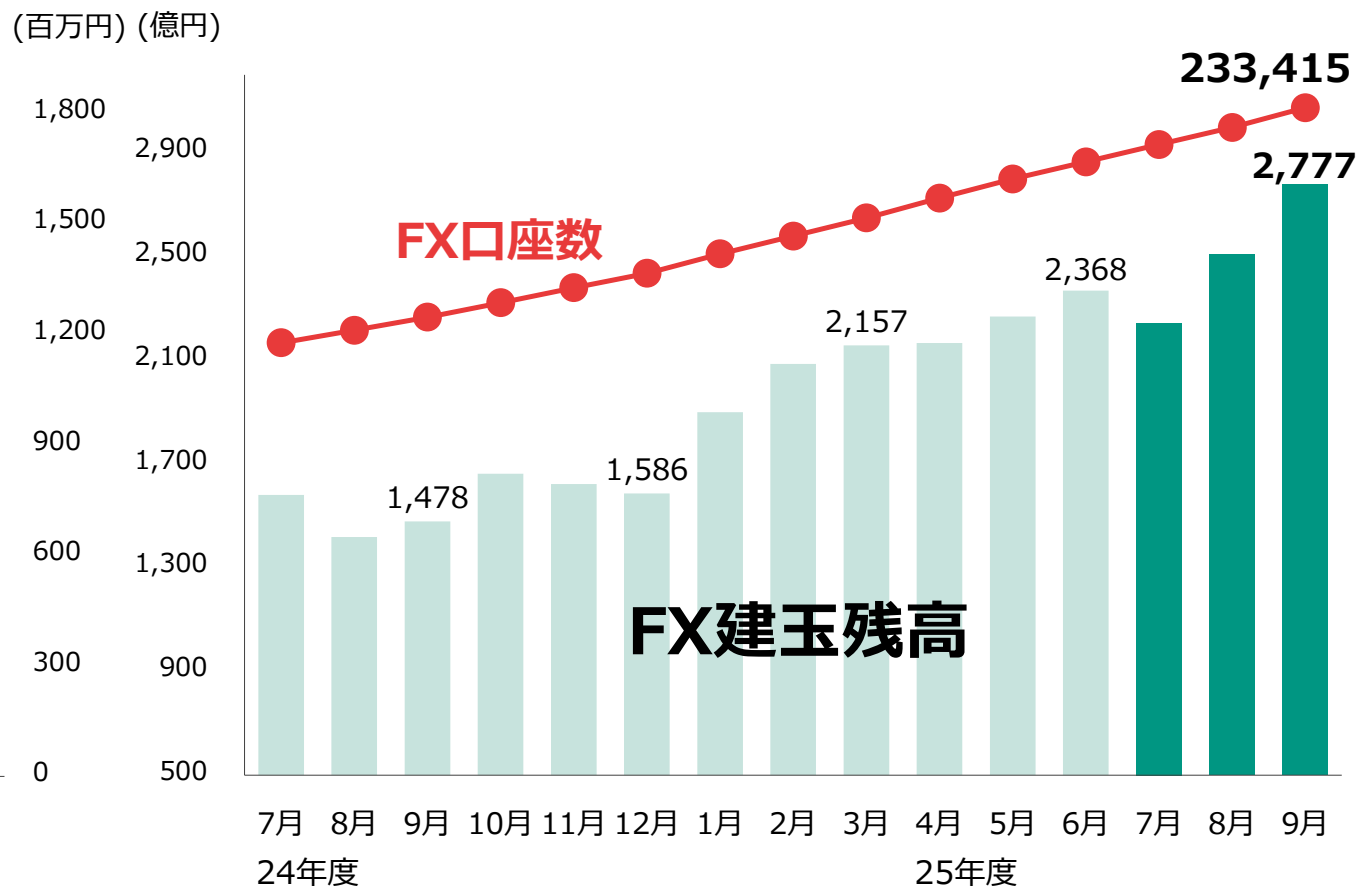


2Qの売買代金は **128.8兆円**、建玉残高は **2,777億円**

FX売買代金とFX収益

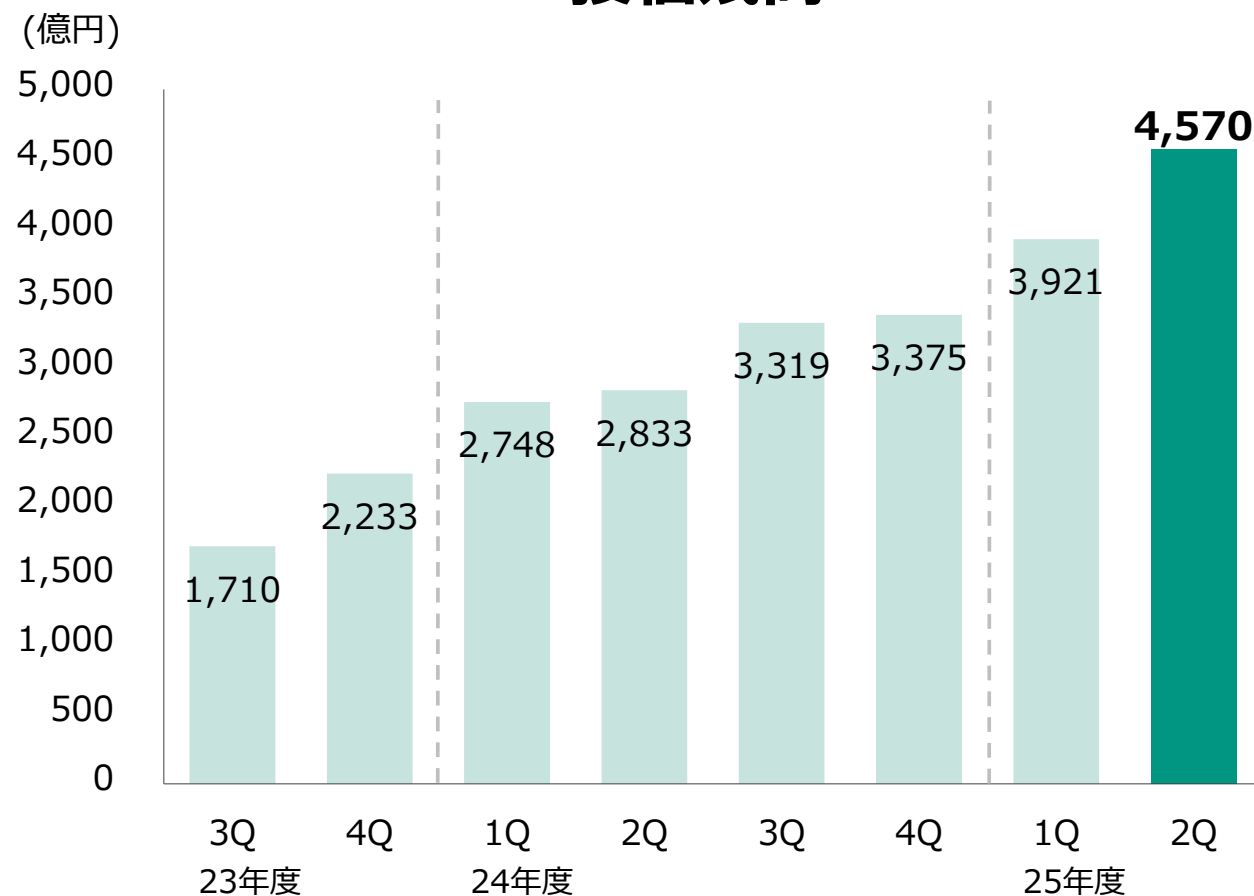


FX建玉残高とFX口座数

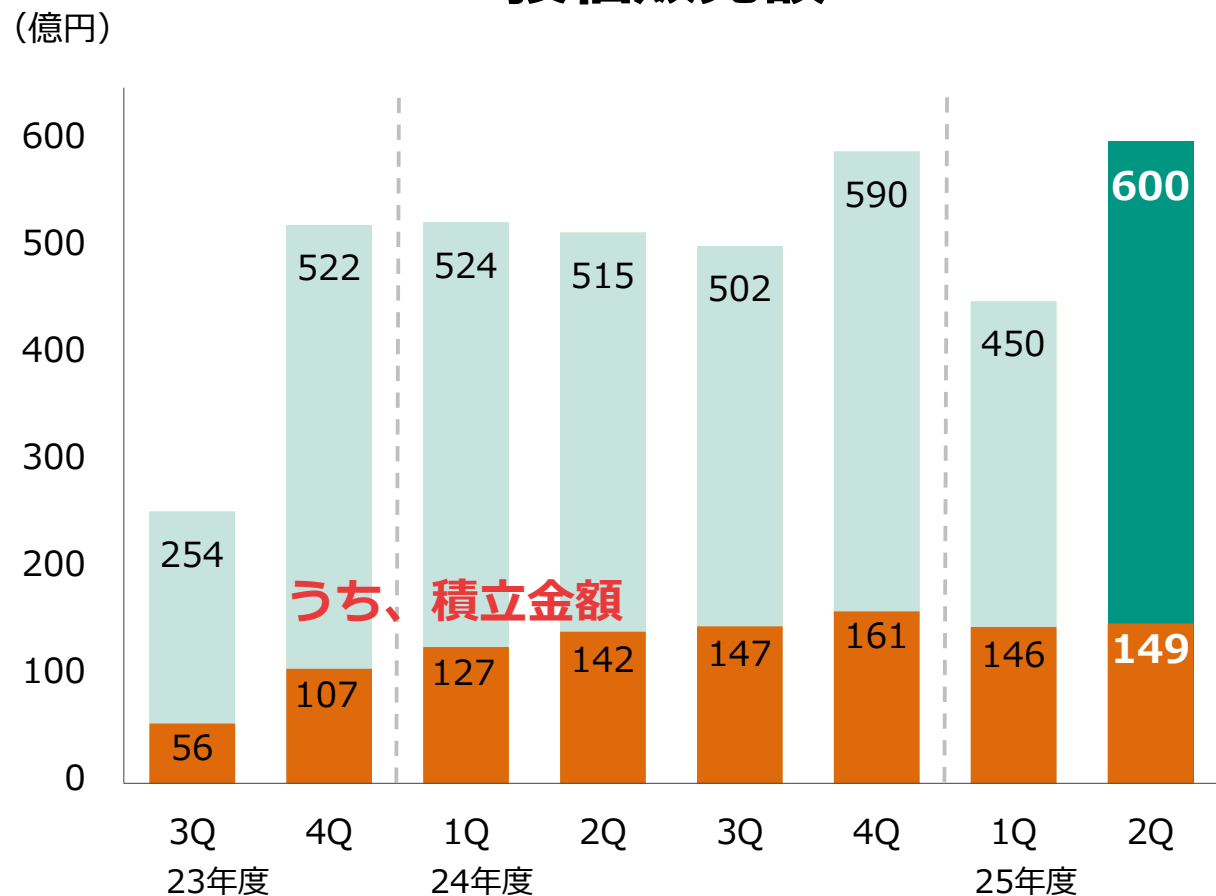


投資信託の残高は **4,570億円**
取扱銘柄数は **1,922本**（2025年9月末時点）

投信残高

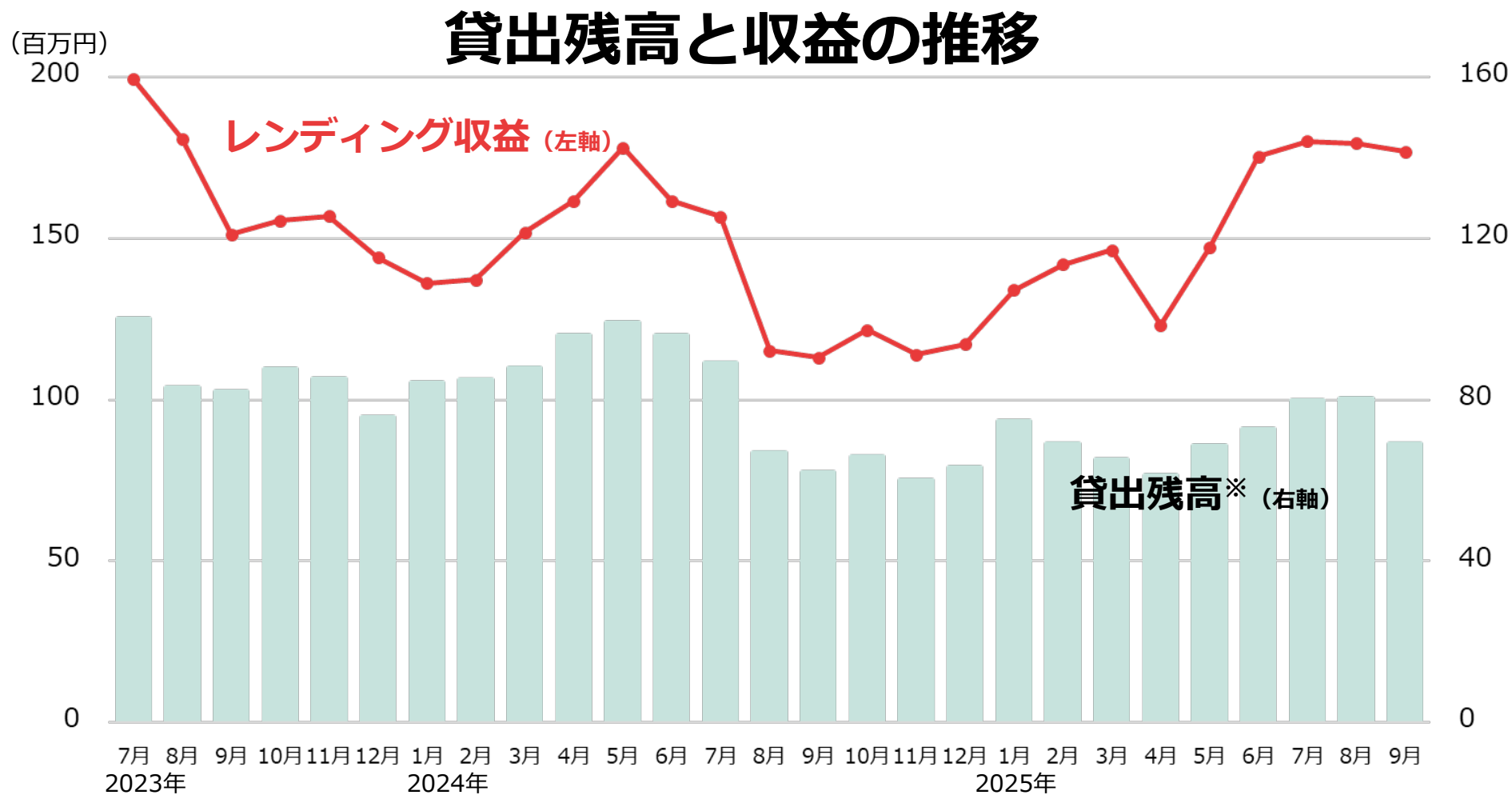


投信販売額



レンディング

銘柄の需要により貸出残高は変動するものの、収益は安定的に確保



※貸出残高は2023年7月を基準値（100）として指数化

経営戦略・取組み施策

認知度向上に向けた取り組みを継続

■ 定期的なテレビCMの展開

- ✓ コーポレートスローガンをラップにのせて表現



■ 各社の認知度（2025年7月）

社名	認知度
SBI	73%
楽天	72%
松井	59%
マネックス	48%
三菱UFJ eスマート	39%

「投資×エンタメ」の新企画で、ブランドをさらに成長

■ 「学べるラブリー」LIVE配信

- ✓ 多くのファンから高評価
- ✓ 同時視聴1.2万人、チャット6千件超の大盛況



【8/25(月)20:00生配信スタート】学べるラブリーLIVE!!～2025夏～マヂカルラブリーと学ぶ 松井証券 資産運用！学べるラブリー～

■ チャンネル登録者数

社名	登録者数	総再生回数
松井	51万人	1.4億回
楽天 (トウシル)	42万人	8,300万回
SBI (ビジネスドライブ!)	52万人	3,190万回
マネックス (マネックスオンデマンド)	14.5万人	2,060万回
松井証券 マーケットナビ	13.5万人	1,820万回
三菱UFJ eスマート証券 (投資情報専門チャンネル)	7.6万人	200万回

※2025年10月9日時点の登録者数・総再生回数を記載、総再生回数順に掲載

鮮度の高いマーケット情報をタイムリーに解説

■ 相場を動かすイベント

- ✓ ジャクソンホール会議、雇用統計、石破首相辞任等に迅速にフォーカス

■ 著名人による人気コンテンツ

- ✓ 日米の相場見通しを様々な着眼点から解説

事前特番：ジャクソンホール会議

① ジャクソンホール会議2025

- 開催日：8/21~8/23 ※現地時間
- 2025年は「労働市場」が議題の中心
- 直近のアメリカ経済を鑑みると高い注目度
- 7月雇用統計受け金融当局のスタンスに変化
- 金融当局高官の利下げ主張が相次ぐ
- 9月FOMCに向けた地ならしが行われる？
- 今年もパウエルFRB議長発言に注目

(参考) 急速に低下する雇用者数

7月雇用統計 (M/1発表)	前回	予想	結果
非農業部門雇用者数	14.7万人	10.8万人	7.3万人
失業率	4.1%	4.2%	4.2%
平均時給 (前月比)	0.2%	0.3%	0.3%
平均時給 (前年比)	3.7%	3.7%	3.9%

POINT

- 雇用の減少 → 景気減速 → 金融緩和 (利下げ)
- 雇用の増加 → 景気加速 → 金融引締め (利上げ)

② シナリオ別見通し

- 基本的には「株買い」イベント
- パウエル議長発言の度合いに注目

【シナリオA：利下げを明言】

- 一気に金利低下&ドル安進行=急速に株高
- 利下げ回数見通しが2回→3回にシフトも
- ハイテク株主導で日本株にも期待大

【シナリオB：利下げ明言せず&若干躊躇】

- 金利は徐々に低下&ドル安方向=株高
- 消費関連&小売大手と大手銀行に物色？

【シナリオC：データ次第 様子見姿勢貫く】

- トランプ氏による後任人事官及
- マーケットが利下げを催促
- 結果 物色はハイテク株中心=株高

パウエル議長公演スケジュールを確認
米露首脳会談にも注目

【7月号】エミンの月間株式相場見通し

次の好機選ぶべき
大型株は？

日米堅調相場の“影”に潜むリスク

8月日経平均急落警戒？

【事前特番】ジャクソンホール会議2025～パウエル議長発言別「3つのシナリオ」～

【事前特番】ジャクソンホール会議2025～パウエル議長発言別「3つのシナリオ」～ | マネーサテライト(マネサテ) - 松井証券

【8月は日経平均の急落に警戒？】日米堅調相場の陰に潜むリスクと参議院選挙シナリオを解説【エミンの月間株式相場見通し7月号】

アクティブな個人投資家に人気のサービスを継続的に強化

■ 東証売買内訳データ

- ✓ 日本株アプリで人気の分析機能をPC（WEB・投資ツール）でも利用可能に



■ IPOでも引き続き上位に

社名	引受件数	参入率
SBI	17	90%
松井	13	68%
東海東京	10	53%
楽天	10	53%
野村	9	47%
みずほ	9	47%
SMBC日興	9	47%
岡三	9	47%
マネックス	9	47%

サービススペックを向上し、より取引しやすい環境を提供

■ トレール注文機能

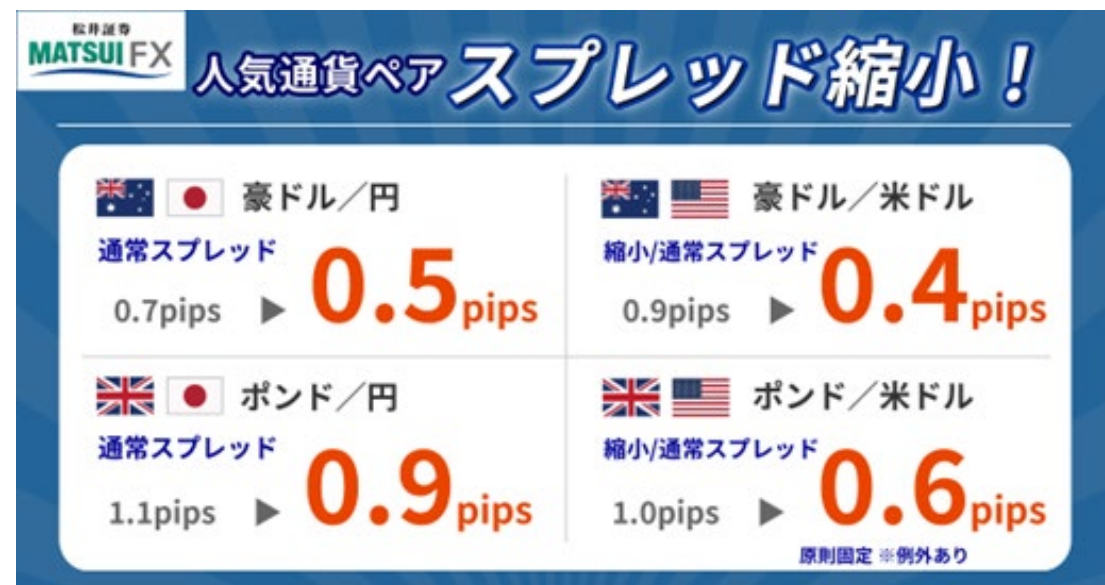
- ✓ 多くのお客様のご要望に応じて実現

■ 業界最狭水準のスプレッド

- ✓ 2025年6月実施キャンペーンでの好評に応え恒久化

The screenshot displays the Matsui FX trading platform. On the left, the '新規注文' (New Order) form is visible. The 'IFD' (IF-DONE) order type is selected, and the 'トレール' (Trail) order type is highlighted in a blue box. The 'トレール' section shows a 'トレール幅' (Trail Width) of 10.0 pips and a '有効期限' (Valid Period) of '無期限' (No Limit). The '確認画面へ' (Go to Confirmation Screen) button is at the bottom. The right side of the screen shows a candlestick chart for the USD/JPY pair, with a price of 111.547.

【FX】リニューアルに伴うFX取引の機能改善！(7/26～)～「トレール注文」の追加、自動売買運用再開機能の追加など～ | 松井証券

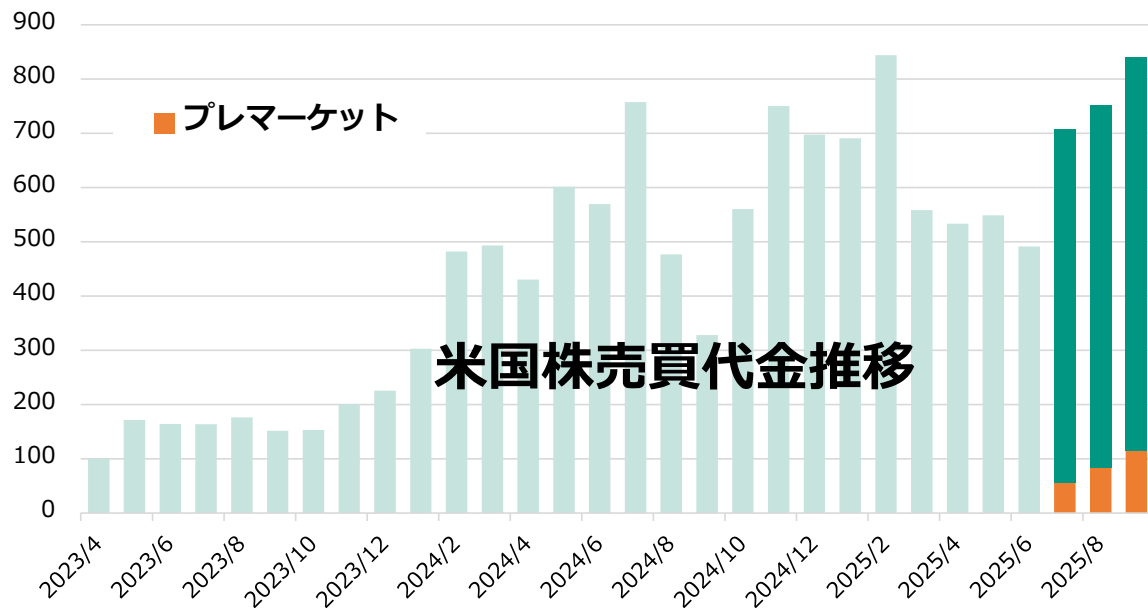


【FX】ポンド・豪ドルの人気4通貨ペアのスプレッドを縮小します | 松井証券

取引の選択肢を増やし、個人投資家をサポート

■ プレマーケット取引の開始

- ✓ 9月のプレマーケットの取引人数は全体の約20%
- ✓ 活況なマーケットと取引時間延長により個人の取引は活発



※2023年4月の売買代金を100として各月の数値を指数化

■ 取扱銘柄数の拡充

- ✓ お客様の要望を元に順次拡充
- ✓ 業界最多水準※の5,000銘柄を突破



※当社調べ、オンライン証券大手5社(当社、SBI証券、楽天証券、マネックス証券、三菱UFJ eスマート証券)と比較、2025年10月現在。

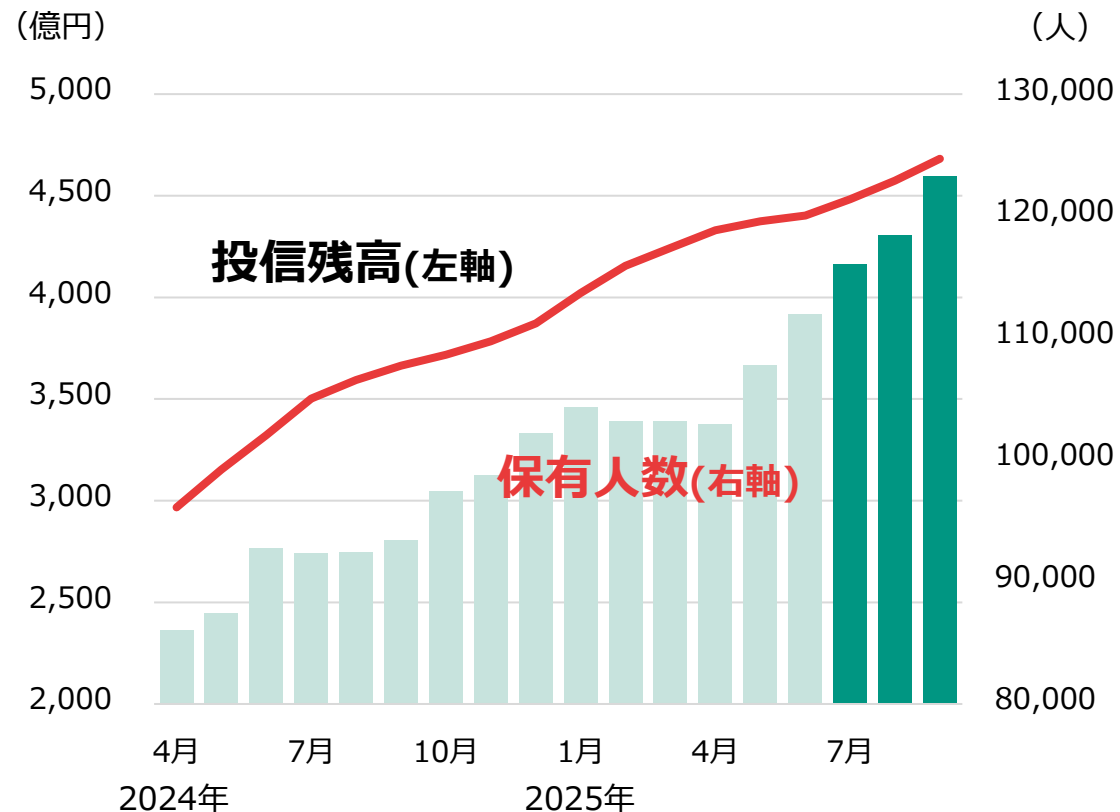
残高、保有人数ともに順調に拡大

■ クレカ積立キャンペーンの実施

✓ JCB社との共同開催



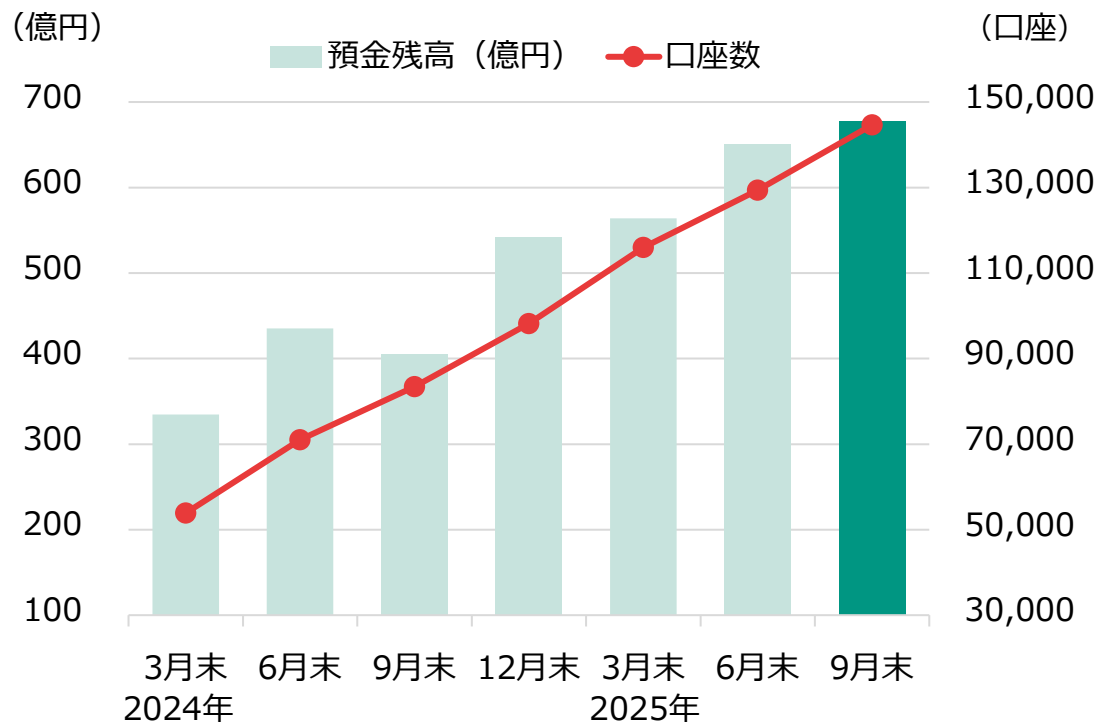
■ 残高・保有人数推移



サービス開始以降、残高・口座数ともに順調に増加

■ 残高・口座数

- ✓ 預金残高は約670億円、
口座数は約14万口座※



※預金残高・口座数は、2025年9月末時点。

■ 魅力的なキャンペーンの実施

- ✓ 円普通預金 & NISA口座開設
キャンペーンを実施



※松井証券は住信SBIネット銀行を所属銀行とする銀行代理業（許可番号：関東財務局長(銀代) 第466号）を行っています。

安心して取引できるクオリティの高いサポートを提供

■ つながりやすいサポート体制

- ✓ 応答率が高水準を維持
- ✓ 1口座当たりの外務員数はネット証券で最多

社名	外務員/口座
松井	100
マネックス	74
三菱UFJ eスマート	73
SBI	57
楽天	42

※各社公表データ（2025年9月末時点）より松井証券作成。「外務員/口座」比率は、松井証券100万口座あたりの外務員比率を100とした場合の割合

■ サポート部門で最高評価を獲得

- ✓ 15年連続HDI格付け3つ星獲得
- ✓ J.D. パワー カスタマーセンターサポート満足度調査
ネット証券部門にて1位*



※J.D. パワー 2025年カスタマーセンターサポート満足度調査<金融業界編>。直近1年以内にネット証券のカスタマーセンターサポートを利用した2,186名からの回答による。japan.jdpower.com/award

ステークホルダーとのコミュニケーション拡充

■ 2025年度統合報告書

価値創造

松井証券 統合報告書2025 6

CEOメッセージ

私たちの思いを託したスローガンのもと
収益源の多様化や人的資本経営の深化に注力し、
企業価値のさらなる向上を追求してまいります

2025年3月期は前期比で増収増益を達成
FXビジネスの収益も順調に拡大

2025年3月期の株式市場を振り返りますと、世界規模でインフレが進行するなか、2024年8月には日銀の利上げに伴う円高の進行および市場予測を下回る米国雇用統計に起因する株急落、ウクライナおよび中東における地政学的リスクの高まり、予測困難な米国の第2次トランプ政権の通商政策など、株式市場にとって不透明な情勢が続きました。このような環境下において、日経平均株価は2024年7月にバブル崩壊後の最高値を更新したものの、直後に急落し、その後は38,000円から40,000円のいわゆるレンジ相場で推移しました。当社のお客様にとりましては、相場の変動はポジティブな要因となり、年度を通じて取引意欲は旺盛で活発に取引をされました。

一方、過去数年間注力してまいりましたFXビジネスの事業規模が順調に拡大し、2025年3月期の決算におきましては、純営業収益の10%を占めるまでに成長しました。私が社長に就任して以降、収益源の多様化を推進してまいりましたが、その取り組みが業績として結実しつつあることに確かな手応えを感じています。結果として、当社の増収増益という決算になったものと考えています。

2023年秋に国内主要オンライン証券の2社が国内株式の売買手数料を無料化したことは、オンライン証券のビジネスモデルにおける重大な転換点として注目を集め、メディアはほかのオンライン証券会社への影響は不可避であるとの見解を示していました。しかしながら、無料化に踏み切った2社への既存顧客の流出は限定的であり、新規口座開設数の傾向にも顕著な変化は見られませんでした。過去2年間、預かり資産残高も右肩上がりで伸びています。お客様が手数料

代表取締役 社長執行役員
和里田 聡

価値観と軌跡

松井証券 統合報告書2025 2

行動指針

01. お客様起点

私たちは、「お客様は誰なのか?」「そのお客様にとってどんな価値があるのか?」という問いを常に思考と行動の中心に置きます。お客様の理解が最も重要であり、お客様の声に意識を向け、お客様が抱えている真の課題を探し出し、解決します。

02. 進化

私たちは、事業を取り巻くあらゆる環境変化に適応し、進化を続けます。常に学び続けることで感度を高め、環境の変化を察知し、それに応じて自らを変えていきます。旧来の慣習や過去の成功体験に固執せず、可能性を追求します。

03. こだわり

私たちは、最高のパフォーマンスを追い求めます。自ら課題を設定し、能動的に行動し、責任を持ち実行します。質の高い成果の実現に向けて果敢に挑戦し、ベストを尽くします。

04. チームワーク

私たちは、チームで成果を出すことを大切にします。それぞれの個性を尊重し、理解し、共に成長することをめざします。仲間との交わりを重視し、情報やアイデアを積極的に発信、共有、交換します。そうしたつながりや掛け合わせを通じて、お客様にとっての価値を生み出します。

05. 事実に基づく判断

私たちは、事実に基づき議論し、判断します。客観性を重視することで、建設的な議論を促進し、意思決定の質を高めます。リソースを最大限に活用するために、優先順位を定め、迅速に実行します。

06. 社会への貢献

私たちは、法令諸規則を遵守することは当然として、社会規範に則り、高い倫理観をもって誠実かつ公正に行動します。事業活動を通じて社会的課題に取り組み、資本市場の発展に貢献し、社会的責任を果たします。善き企業市民として、多様性を認め、持続可能な企業活動を追求することで、社会との調和を図り、信頼関係を築くことに努めます。

■ 強いブランドの構築

- ✓ 認知度の向上
- ✓ 顧客基盤の拡大

■ ラインアップの充実、特色のあるサービスの提供

- ✓ FX (サービスの継続改善)
- ✓ 米国株 (投資情報の拡充)
- ✓ MATSUI Bank (さらなる利便性の向上)

■ サービスクオリティの向上

- ✓ UI/UXの向上
- ✓ カスタマーサポートの拡充
- ✓ セキュリティの強化

Appendix

業績推移（四半期推移）①

（単位：百万円）

	2024年3月期		2025年3月期				2026年3月期	
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業収益 ¹	8,835	10,336	9,895	10,390	9,413	9,506	11,407	12,432
純営業収益	8,566	9,949	9,448	9,925	8,951	8,811	10,713	11,610
販管費	5,035	5,590	5,213	5,260	5,374	5,652	6,045	6,016
営業利益	3,530	4,359	4,235	4,665	3,576	3,160	4,668	5,594
経常利益	3,478	4,333	4,225	4,677	3,531	2,859	4,536	5,615
当期純利益	2,277	2,761	2,894	3,203	2,381	2,022	2,872	3,663
営業収益経常利益率	39%	42%	43%	45%	38%	30%	40%	45%
当社株式売買代金（兆円）	11.9	15.1	13.5	13.6	13.6	13.8	15.2	16.4
当社信用取引平残（億円）	3,380	3,497	3,922	3,641	3,430	3,533	3,285	3,388

注1：25年3月期より、顧客とのFXスワップポイントの授受に伴う収支を金融収支からトレーディング損益に変更。これに伴い24年3月期以降の各期においても同変更を反映

業績推移（四半期推移）②

(単位：百万円)

	2024年3月期		2025年3月期				2026年3月期	
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
受入手数料	4,470	6,265	5,218	5,376	4,604	4,772	5,246	6,101
委託手数料	4,224	5,989	4,944	5,123	4,320	4,505	4,996	5,823
株式・ETF	3,961	5,704	4,655	4,792	4,102	4,258	4,721	5,593
先物・オプション	262	285	289	331	218	246	275	230
その他	246	276	274	253	284	267	250	278
トレーディング損益 ¹	1,089	526	695	1,230	1,128	700	1,759	1,295
金融収支 ¹	3,007	3,157	3,535	3,320	3,219	3,339	3,708	4,214
金融収益 ¹	3,277	3,544	3,982	3,785	3,681	4,034	4,402	5,036
金融費用 ¹	270	387	447	465	463	695	694	822
純営業収益	8,566	9,949	9,448	9,925	8,951	8,811	10,713	11,610

注1：25年3月期より、顧客とのFXスワップポイントの授受に伴う収支を金融収支からトレーディング損益に変更。これに伴い24年3月期以降の各期においても同変更を反映

業績推移（四半期推移）③

(単位：百万円)

	2024年3月期		2025年3月期				2026年3月期	
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
取引関係費	1,600	2,108	1,649	1,539	1,653	1,911	1,925	1,849
取引所・協会費	362	429	398	393	369	390	433	439
通信・運送費	319	346	328	323	329	339	362	347
広告宣伝費	643	1,020	647	530	656	890	834	741
人件費	899	931	976	1,000	999	979	1,227	1,132
不動産関係費	268	245	267	277	282	286	305	303
事務費	1,293	1,265	1,287	1,305	1,382	1,374	1,465	1,600
減価償却費	827	862	857	903	924	955	919	911
租税公課	110	111	113	134	104	116	132	138
貸倒引当金繰入	△ 19	3	3	44	△ 36	△ 1	△ 3	3
その他	57	66	61	60	66	31	75	81
販管費合計	5,035	5,590	5,213	5,260	5,374	5,652	6,045	6,016

投資をまじめに、おもしろく。

MATSUI

松井証券

本資料に記載している事項は、資料作成時点における弊社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。
本資料のいかなる部分も一切の権利は松井証券株式会社に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

松井証券株式会社 戦略企画部 IR担当

Tel : 03-5216-0784 Mail : ir@matsui.co.jp